

広島都市学園大学保護者の会 会報



第 8 号

発行 広島都市学園大学 保護者の会
発行先 〒734-0014
広島市南区宇品西五丁目 13 番 18 号
TEL 082-250-1133
FAX 082-250-1134

【「こころ」の由来：広島都市学園大学の理念である「心技一体」の1文字からつけています。】

新春対談 実習の心構えをお聞きします



【丸山保護者の会会長】広島都市学園大学健康科学部では「看護師」「保健師」「理学療法士」「作業療法士」の四つの資格を取れるコースを持っています。これらは国家試験に合格して得られる資格です。そして、国家試験受験には実習が必須です。このことに不安を感じる学生や保護者の方も居られると思います。それで事務局にお願いして実習について概要を表にしてみました。(本ページ最下段表)この表ですと、学年は分かれますが、その期間とか月とかいった時期を教えてくださいませんか。

【山本看護学科長】看護学科の実習は、二年次の前期に基礎的な看護技術を、後期に生活援助の実習をします。時期は夏休みに一週間、二・三月に二週間です。三年次後期には専門看護学の五つの実習が計十六週間、三年次一・三月から四年次六月までの間に在宅看護実習が二週間、四年次には課題別統合実習が二週間です。別途、保健師課程では、四年次前期に二種類、計五週間の実習がございます。卒業までに計二十七週間になります。



【丸山会長】凄いですね。三年次後期には、学生は誰も学校には居ないですね。では、リハビリテーション学科の実習期間と時期を教えてくださいませんか。

【富樫リハビリテーション学科長】理学療法専攻と作業療法専攻とも二年次に臨床見学実習が八月下旬から九月中旬の間に一週間、三年次には、理学療法専攻の臨床評価実習・作業療法専攻の基礎臨床実習が九月下旬から十月下旬までに三週間です。そして、理学療法専攻の臨床総合実習が三年次後期に八週間と四年次前期に八週間、作業療法専攻の総合臨床実習IとIIが四年次前期に各九週間で計十八週間あります。卒業までに理学療法専攻が二十週間、作業療法専攻が二十二週間になりますね。



【山本学科長】学内で学んだ知識・技術だけでは患者さまの看護は出来ませんので、さまざまな健康状態にある対象者のニーズに応じて、看護実践できる能力を臨床・臨地の現場で見学・体験します。学生にとってこの実習は、看護教育の約半分を占める重要な科目です。白衣を着て初めて行く実習病院での緊張を出来るだけ少なくするように、実習施設と連携して、学生が学びやすい環境づくりや、実習目標に到達できるように実習前から全領域とも細かい準備をしています。大学が大切に考えていることは、まずは身体面・精神面での健康管理。次に、厳しい実習をグループメンバーで支え合う関係づくり。そして、困りごとがあれば指導教員やチューターに打ち明けて、決して一人で悩まないことなどを重点的に指導しています。保護者の皆様にお聞きしたいことは、「がんばれ」だけでなく話を聞いてあげてください。家族間の何気ないホットする雰囲気は、やる気を喚起し、看護師になつて疾病や障害を持った人々の役に立ちたいという自覚がより一層強く芽生えると思います。実習後の学生達は一回りも二回りも大きく成長し、自分の考えがしっかり述べられるようになります。保護者の方と教員との二人三脚で学生の成長を支援

【丸山会長】ホッとすると家庭環境でですね。

【富樫学科長】リハビリテーションの臨床実習は、学年進行とともに段階的にだんだん長期になっていきます。また、臨床実習の内容は学年が進行するにつれて豊富な知識と基本的技術が必要となります。そして、臨床における科学的な視点で論理的に思考する能力が求められますので、かなり勉強をしなければならぬ床実習ではたいへんに苦労することになります。卒業すれば、患者様を理学療法あるいは作業療法を用いて治療することになりますので、当然のことではありますが、学生が困らないために、学内で実習の内容、段階に応じて指導しています。見学実習のレベルでは、見学のポイントや挨拶のしかた、お礼状の書き方、実習先への電話のかけかたなどを指導しています。臨床評価実習では検査測定の仕方として検査の結果を総合的に評価することが求められます。このレベルの実習はかなり学生にとってハードルが高くなっています。臨床実習前指導という科目やオースキーという模擬患者(上級生)を使った実技試験などを行って指導しています。すべての臨床実習において実習施設ごとに担当教員を配置し、実習地との連絡や教員の実習地訪問を細かく行っています。臨床実習が始まる前にオリエンテーションを行い、学生から教員への「ハウレンソウ」を徹底し、臨床実習中は実習担当教員とチューターの連携もしっかりととっています。なにか対応しなければならぬ場合は、すぐに対応できる体制で臨床実習を行っています。最近、臨床実習時期が近くなりますと、学生同士で空いている教室を使用して検査測定などの自主的練習を行っている姿を目にします。「しっかりとやっているね」と声をかけると、「ありがたうございませす。」と元気な声がかえってきます。そのとき、心の準備はできているなあと思います。臨床実習を終えた学生の顔は、それ以前よりも理学療法士、作業療法士を目指す学生の顔

【山本学科長】実習施設を決める上で大切にしていることは、実習は八ヶ九領域が分散して長期間にわたりますので、実習施設の選択やグループメンバーの組み合わせについては、各領域の担当者や実習委員会が中心となって案を作成しています。実習施設の地理的状況も異なりますので、学生の居住地、実家の住所などを調べて実習施設に通いやすいような組み合わせをします。やむなく遠隔地になる場合には宿泊をしなければなりません。臨床の力はすごいですが、泊費も考え、実習終了後に保護者会から援助をしていただいています。一人の学生が大学から遠く離れた施設ばかりにならないように振り分けています。学生の健康状態やグループメンバーについても個々の学生の特性に合わせて配慮しています。グループ編成に当たっては、技術演習の授業で教員が観察したこと、チューター教員からの情報なども参考にしております。個別の事情がある場合にはチューターと相談して、実習が可能となるように検討してい

教育課程における各実習の目標

Table with columns for '学年' (Year), '実習科目' (Practical Subject), and '到達目標' (Achievement Objectives). It details goals for various practical courses like '基礎看護技術学実習I', '在宅看護実習', and '総合臨床実習I/II' across different years.

ばなりません。そこで、交通費・宿泊費も考え、実習終了後に保護者会から援助をしていただいています。一人の学生が大学から遠く離れた施設ばかりにならないように振り分けています。学生の健康状態やグループメンバーについても個々の学生の特性に合わせて配慮しています。グループ編成に当たっては、技術演習の授業で教員が観察したこと、チューター教員からの情報なども参考にしております。個別の事情がある場合にはチューターと相談して、実習が可能となるように検討してい

ます。

【富樫学科長】学科の中に実習委員会という組織があり、その中で実習に関することは決めます。実習委員会が決めたことに従って、一人、一人の学生の実習地を具体的に、どこにするかは、各専攻で、決めます。学生の居住地、実家の住所、学生からの情報を基に案を出し、専攻会議で協議して決めています。原則として病院や施設までの時間を考慮して、配置しています。リハビリテーション学科の臨床実習は、病院や施設での引き受けて頂く人数が一人というところが多く、かなりの数の実習先が必要となります。現在、実習先として文科省に届けているのが、理学療法専攻で約二百二十施設、作業療法専攻で百五十施設程になります。この中には遠方の病院や施設が含まれています。これだけあっても、すべての施設が、いつでも実習を受け入れてもらえる状況ではありませんので、実習地が遠方になることもあります。ご理解いただければと存じます。

【丸山会長】学生のため、努力していただいている様子を説明していただきました。健康科学部はどちらの学科も実習必須ですから、石崎先生の学部長としてのお立場から、保護者の方にアドバイスをいただければと思います。



【石崎健康科学部長】実習現場は命と正面から向き合い、失敗が決して許されないと厳しい所です。学生達はこれまでの人生で経験したことがない一寸たりとも気が緩めない、緊張感を味わうことになり。実際は実習前から学生のストレスは大変に高いですが、医療者として生きていくには将来に渡り、このストレスを経験していくことになり。緊張しながらも暖かく穏やかな心で医療現場に立てるように保護者の方々のご理解・ご支援をお願いいたします。

【丸山会長】保護者として、大変参考になりました。今後も、学生たち

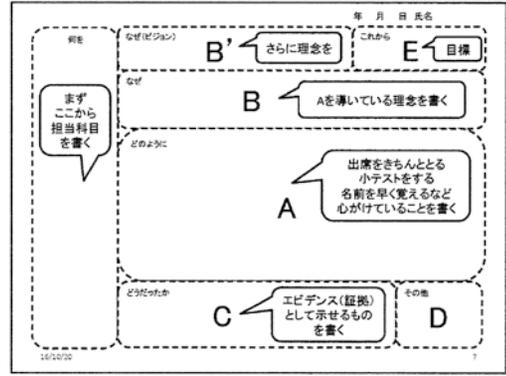
をよろしく願います。

教員研修会開催

文部科学省では、教育内容等の改善のための研修等を行うよう、大学設置基準で、「大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に努めなければならない。」と定めています。これにより、全国の大学では国公私立を問わずFD（ファカルティ・デベロップメント）と称する研修を行っています。

広島都市学園大学では作業療法研究者の県立広島大学教授吉川ひろみ先生を講師にお招きして、十月二十日（木）に西風新都キャンパスに看護学科、リハビリテーション学科、子ども教育学科の先生方が参加されてFD研修会が開催されました。FDとは、「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的取り組みの総称で、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。」としています。

吉川ひろみ先生は、国立療養所東京病院付属リハビリテーション学院卒業後、一九九三年アメリカ・ウェスタン・ミシガン大学作業療法学科修士課程を修了され、広島県立保健福祉大学助教を経て、現在の県立広島大学で作業療法研究者として教授職に就いておられます。



この日は、教育業績の記録「ティーチング・ポートフォリオ」について研修しました。この方法は学生には、「ラーニング・ポートフォリオ」として応用できます。大学教員にとっては、自己省察により、教育の改善、自己発展に役立ち、経験豊かな教員が作成することで、後進への道標を示すことになり、ひいては、大学の財産としての価値が生じることを知る研修でした。

今年度二回目のブックハンティング

看護学科二年 松谷 美加さん 宮崎 秋穂さん

ブックハンティングでは、「買いたい本があるが、自分で購入するには高額で買うことができない」、「図書館にある専門書以外にも、もっと詳しいものを置いてほしい」、「図書館には自分の読みたい本がないため、自ら選書したい」などといった学生の要望を、保護者の会の支援のもとで、私たち学生が行動し、選書する方法として行われています。

十一月十九日土曜日は、リハビリテーション学科から七名、看護学科からは四名が参加し、MARUZEN広島店で行われました。今回は初めてを試みて、参加時間を前半と後半に分け各個人の都合に合わせて参加時間を選べるようにしました。参加時間が前半と後半になることで、自分の予定や都合に合わせてやすく、気軽に参加できると感じました。

今回初参加で、ハンディという選書するのに必要な機械を使用しました。これを使うことで、本をたくさん選んでも自分で持たなくてよいので荷物にならず、スムーズに選書することができました。MARUZEN広島店には、幅広いジャンルと多数の書籍があり自分の興味がある分野や医療に関する専門書がとても多く、学習につながるものや実習に役立つものがあり、その中から選書するのはなかなか機会がないため、と



ハンディ端末を持つ学生たち



でも楽しくまた参加したいと思えました。また、選書する際に普段自分が利用しない分野の本を見て興味が出たり、読んでみたい本や個人的に購入したい本が出てきたり、自分をさらに成長させるきっかけになったと思います。

- 平成二十八年度後期 ブックハンティング 参加者アンケート結果
- 【実施日時・実施場所】
日時：平成二十八年 十一月十九日（土）
一部一四〇〇〇
二部一七・三〇〇
- 場所：MARUZEN広島店（広島市中区胡町五十二） 天満屋 八丁堀ビル七・八階
- 【参加募集方法】
・学生電子掲示板
・図書館内での掲示
・学生に直接声掛け
・教員から声掛け
- 【アンケート結果】
問一 あなたの学科(専攻)学年及び性別を教えてください。
看護学科
二年女三名・男〇名
三年女一名・男〇名
リハビリテーション学科
理学療法専攻
一年 女一名
男〇名
二年 女二名・男一名
・同 作業療法専攻
二年 女三名・男〇名
- 問二 今回のブックハンティングをどのように知りましたか？
一 ポスター 四名
二 電子掲示板 一名
三 ホームページ 〇名
四 先生から 四名
五 職員から 〇名
六 友人から 四名
七 その他 〇名
- 問三 ブックハンティングの場所は適当でしたか？
一 適当 十一名
二 適当でない 〇名
- 問四 ブックハンティングの開催日は適当でしたか？
一 適当 十名
二 適当でない 一名
祭が前日だったので、ずらして欲しかった。
ブックハンティングの日
- 問五 ブックハンティングできる予算は適当でしたか？
一 適当 九名
二 多い 一名
三 少ない 一名(二万円)
予算を参加者数で割るため、看護学科とリハビリテーション学科では一人の予算に差が出てくる。多いと答えた学生は看護学科、少ないと答えた学生はリハビリテーション学科の学生である。来年度以降もブックハンティングを行えるのであれば、参加者数を制限する等の工夫が必要となる。
- 問六 ブックハンティングに参加していかがでしたか？
一 大変良かった 七名
二 良かった 四名
三 ふつう 〇名
四 良くない 〇名
五 非常に良くない 〇名
- 問七 問六で「一・大変良かった」「二・良かった」に丸をした方に質問です。どのような点が良かったかご記入ください。
(ア) たくさんの種類の本に触れることが出来たことへの感想
・参考書から個人の欲しい本まで幅広く選べて良かったです。
・大型書店を見て回る事で、様々なものに興味を持って楽しかったです。
・たくさん本があるので、新しい本を色々発見できてこういう機会があつて助かります。
・色んな本に出会えた。(個人的にも欲しい本が図書館に増える)
- (イ) 自分で購入するには高額な本が購入できた、またそれなりの予算額があつたことへの感想
・金額を気にせず購入出来たので楽しかったです。
・普段、高くて手が出せない本も買うことができる点

- ・金額と気になる本が豊富だった
- ・時間や金額に余裕があつて参加しやすかった。
- ・自分が読んでみたい本が選べたから良かった。
- ・長い時間本を見る機会がないので、本に直接触れる事ができる点
- ・読んでみたい本を見ながら探すのは楽しかった。
- ・今まで興味があつても本屋に行けなかったり、時間が無かったりしてゆっくり見られなかったのが良く見る事が出来たから。
- ・ものづくりに関わる書籍がたくさん欲しいものがあり、それを選ぶことが出来たので良かった。

ビブリオバトル開催

十一月二十日(日) 大学祭・第一回みやこ祭の日、図書館主催の「ビブリオバトル」が宇品キャンパス図書館で開催されました。

ビブリオバトルとは、本の紹介コミュニケーションゲームです。

- 一 発表参加者が読んで面白いと思つた本を持って集まる。
- 二 順番に一人五分間で本を紹介する。
- 三 それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを二三分行う。
- 四 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなかったか?」を基準とした投票を行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とします。

チャンプ本は、栗棟さんが紹介した『はたらく細胞』でした。最後に古澤敏昭総長から賞状と記念品が渡されました。

エントリー者と紹介本は、看護学科 一年久留米陸人さん 『詩羽のいる街』

リハビリテーション学科 理学療法専攻 一年栗棟 絃子さん



- ・超たのしかった。
- ・集合場所にブックハンティングの集合場所として分かり易い案内POPが欲しい。

POP大賞決まる

【応募期間】平成二十八年六月十五日(水)～九月九日(金)

【投票期間】平成二十八年九月十二日(月)～九月三十日(金)

「この本、面白かった!」「他の人にも読んで欲しい!」「これ、いいよ!」

そんなあなたの感動を、文章や絵でみんなに伝えてみませんか?の趣旨で開催されたPOP大賞の応募作品は、図書館内で展示し、来館者による投票が行われました。

最優秀賞 リハビリテーション学科 作業療法専攻三年 松下 佳代さん

本のタイトル アイスクリン強し

優秀賞 リハビリテーション学科 作業療法専攻四年 中野 香穂さん

本のタイトル はたらく細胞



- 優秀賞 子ども教育学科二年 藤崎ちひろさん
- 本のタイトル くろくんとふしぎなともだち

読書感想文コンテストで表彰されました

入賞者には賞品が進呈されました。

健康科学部リハビリテーション学科 (理学療法専攻) 吉村優那さん

本のタイトル 『99のなみだ 第一夜』より「音色を教えて」

著者名 リンダブックス編集部

お姉ちゃん」という言葉は、時

に自分自身を強くさせる。『99のなみだ 第一夜』の中に入っている短編の一つ「音色を教えて」の中でも、このお姉ちゃん」という言葉が重要視されていた。

主人公の由奈と私は、歳が離れた兄弟がいるという点で重なる部分があり、物語を進めていく内に、小さい頃の自分に返つたような気がした。ずっと一人っ子だった由奈の元に、六歳離れた弟が生まれたのは半年前。一人っ子の時と比べ、両親の愛情が弟ばかりに注がれるように感じ、いつしか名前ではなくお姉ちゃん」と呼ばれるようになった。

由奈は、いつも近所にやつてくる、威勢のいい豆腐屋さんが大嫌い。しかし、弟の離乳食の為に、熱を出した母親からおつかいを頼まれてしまったのである。

豆腐を買うことは、由奈にとって大きな試練だった。昼間も薄暗い雑木林を駆け抜けて、苦手な豆腐屋の主人の元に買いに行くのである。まだ一年生の由奈は、中々豆腐屋のりやかりに追いつけず、一時間近くもりやかりを追いかけ、やっと豆腐を手に入れたのだ。

お姉ちゃん」という言葉は誇りであると同時に、重荷でもある。母親に期待され、褒めそやされ、我慢

してお姉ちゃん」になる。そして、それと同時に強くなる。途中で諦めて、家に戻ろうとしたはずだ。しかし、由奈は豆腐を自分の手で買うと決めた。豆腐は、自分の勇気が詰まった証明書になると思つたからだ。

私も妹が生まれた時はそうだった。聞き分けが良く、手のかからないお姉ちゃん」を演じていた。でも、今だから言えること。あの頃の自分がいるから、今は何でも乗り越えられる。お姉ちゃん」という言葉は、私を強くさせてくれる、魔法の言葉なのだということに。

優秀賞 健康科学部看護学科 西田真秀

本のタイトル ようこそ地球さん処刑

著者名 星新一

「死」について考えたことが一度でもあるだろうか。友人の死、知人の死、そして身内の死が身近であると嫌でも死について考えるだろう。星新一が書いたようこそ地球さんの中にある「処刑」という作品は文明が進んだ地球を題材としている。文明が進んだ地球では犯罪が増え、大衆が被害者のために求めた刑は重くなる一方であった。そして処刑方法として最後に考えられたのが新しい発見、資源、銀行旅行として盛えており今では意味のないものとなつてしまった「赤い惑星」の利用である。犯罪者は処刑地である赤い惑星に降ろされるのだ。犯罪者にわたされる持ち物は銀の玉と水に入れると食料になる赤い粒だ。この銀の玉というものがこの作品のキーである。この銀の玉に付いているボタンを押すとジーッとという音とともにコップ一杯の水が出てくる。死の恐怖と引き換えに。

主人公は地球で殺人罪を犯し赤い惑星に連れてこられた。この惑星はとても暑く、水無しでは生きていけない。銀の玉のボタンを押せば水が出てくるのだがそう簡単には出てこない。ある回数以上ボタンを押すと内部にある超小型原爆が爆発し、三十メートル周囲のものを一瞬で吹

き飛ばす仕組になっている。銀の玉なしでこの惑星で生きることができない。逆に銀の玉が爆発し、殺されることもあるのだ。銀の玉は笑いかけるように主人公に話かける。では、この主人公が最後にどうなったか。主人公は死への恐怖心がなくなりボタンを狂うようにして終わる。生きたく死んだかは分からないまま作品は終わる。

人は死への恐怖心がなくなると生きるのをやめてしまうのかもしれない。誰しも死ぬのは怖い。死んだらどうなるのか、というのは多くの人が考えたことだろう。この作品は水の大切さを述べたものではなく、「死」という概念を述べたものである。死という恐怖がなかったら人間は子どもを産み、育てることをやめてしまつたらう。人間がここまで生を繋げてこれたのも死が怖かったからだ。死がいつも身近にいるというのはとても怖い。星新一はそれを伝えたかったのだと思う。死への恐怖が人間の命を繋ぎ、生きることの意味や価値などを見出している。

「第一回みやこ祭」開催

大学祭「みやこ祭」実行委員長 リハビリテーション学科 理学療法専攻 石本貴広さん

大学祭の実行委員長というとても大きな役割を経験させていただき、何事にも一から物事を考え企画し、実行に移していくことの大変さを学びました。

今年の大学祭は例年と異なり、学生が中心となり一から企画して大学祭を成功させるという初めての試みでした。実際私も実行委員長に立候補しましたが昨年同様の形態だと最初は思い立候補しましたが、実際は思い立候補しませんでした。

立候補したからには取り下げるにはいかならないし、最初は「何とかなるだろう」と軽い気持ちで考えていました。しかし、三学科しかもキャンパスも違えばかなり難しく大変なこととは多く、気軽に何回も話し合いの場が持てなかったり、伝達がうまく

き飛ばす仕組になっている。銀の玉なしでこの惑星で生きることができない。逆に銀の玉が爆発し、殺されることもあるのだ。銀の玉は笑いかけるように主人公に話かける。では、この主人公が最後にどうなったか。主人公は死への恐怖心がなくなりボタンを狂うようにして終わる。生きたく死んだかは分からないまま作品は終わる。

人は死への恐怖心がなくなると生きるのをやめてしまうのかもしれない。誰しも死ぬのは怖い。死んだらどうなるのか、というのは多くの人が考えたことだろう。この作品は水の大切さを述べたものではなく、「死」という概念を述べたものである。死という恐怖がなかったら人間は子どもを産み、育てることをやめてしまつたらう。人間がここまで生を繋げてこれたのも死が怖かったからだ。死がいつも身近にいるというのはとても怖い。星新一はそれを伝えたかったのだと思う。死への恐怖が人間の命を繋ぎ、生きることの意味や価値などを見出している。

問十一

- ・ライイトノベルを選べなかった
- ・小説、色々な種類のものづくりの本
- ・リハビリ・看護・医療系のマンガなど
- ・よく貸出される本を二冊にする等して頂けたら嬉しいですね
- ・趣味や遊びなどの本もあると良いかなと思いました。



いかなったり課題はかなりありましたが、数少ない会議で決めることは多く、開催日までの時間も限られていた中で実行委員をまとめることは、すごく大変でした。また企画の面でもみんなで考えを出し合いながら昨年までのデータなどを参考にしながら実行委員の学生と担当の先生方でまとめていきました。

学生が中心となって進める大学祭でしたがやはり先生方のフォローはとも助かりました。私が高キャンパスとの伝達などのことでなかなかうまくいかなかったときには事務局長先生をはじめ事務の先生方が他キャンパスと連絡を取ってくださったり、会議に必要な書類のコピーや印刷、必要なもの手配などとても熱心に動いてくださり、とても助かりました。ラジオ番組出演の際にも自分のまとめた原稿を整理して読みやすい原稿にまとめて頂いたり、学生だけの力では今回の大学祭は成功しませんでした。

私がこの経験を通して感じたことは、将来、理学療法士になり患者さんに理学療法を提供することと似ているような気がしました。患者さんの機能の取得、改善のために、データを参考にしながら、理学療法プログラムを立て、患者さんに実行に移していくまでの流れと共通し、将来のためにとても良い経験をさせていただいたと思えました。自分一人の力では足りないという点ではなくいろいろな方面の方とのコミュニケーションを取りながら患者さんを回復に導いていく理学療法士としての流れを違う形でありますが、同じ年代の人より先に体験させていたかったです。チャンスをください



さった先生方や、実行委員のみんなにはこの大学祭を成功させるうえで、かけてはいけない力でした。来年は私たちが今回の大学祭で経験したことを先輩たちに伝えもつとよりよい大学祭が開催されるように、フォローし、これから何年も大学祭が成功するような土台を自分たちがつくり来年も再来年も成功してほしいと思っています。

最後に、このような機会を用意していただいた事務局長先生並びに大学祭に関わっていただいた先生方、そして資金面での協力をしてくださった保護者会の皆様へ感謝いたします。最後まで読んでいただきありがとうございます。



看護学科二年

宮崎秋櫻さん
松谷美加さん

十一月二十日に、第一回みやこ祭を開催しました。今年は都市学園大学だけでなく古澤学園の専門学校とも共同で大学祭を行いました。天気が心配でしたが、天気にも恵まれ大きな問題もなく成功させることができました。

みんなで一つの事をやり遂げることで団結力が生まれ、普段会うことのない学科のひとつも交流を深めることができるので交友関係を広げることが出来ました。初めての大学祭だったので何をどうしているのか分からなかった所もありましたが、先生方が助言を頂きながら放課後三学科で会議を重ね、進めていくことが出来ました。看護学科は血圧測定や献血のコーナーを企画し、健康に関する催しを行いました。反省点として場所が分かりづらかったことや、一部の学生に負担がかり学部全体で協力する体制が少なかったように感じました。看護学科では大学祭に参加する学生が少なくないように感じたいと思いました。今回の大学祭を基盤にもっとより良い大学祭になるよう、学生主体で企画運営できるように改善していきたいと思っています。



看護学科は血圧測定や献血のコーナーを企画し、健康に関する催しを行いました。反省点として場所が分かりづらかったことや、一部の学生に負担がかり学部全体で協力する体制が少なかったように感じました。看護学科では大学祭に参加する学生が少なくないように感じたいと思いました。今回の大学祭を基盤にもっとより良い大学祭になるよう、学生主体で企画運営できるように改善していきたいと思っています。



卒業生看護士の
母校里帰り研修

卒業生が勤務しています川崎医科大学附属川崎病院看護部様では、看護職員としての就業継続意識・意欲の確認と、母校の教員の存在が精神的な支えであると認識することを目的に、里帰り研修を母校の広島都市学園大学で実施されました。

- 一、教員、後輩との交流によるリアルタイムの軽減
- 一、母校での講義を聴講して、より知識を補充する
- 一、自分が行っている看護を在校生、母校の教員へ報告する

「里帰り研修」を終えて

川崎医科大学付属川崎病院

砂田早紀さん
(平成二十八年三月卒業)



今回、病院からお声をかけて頂き里帰り研修に参加させていただきました。里帰り研修

が決まった際は、大学へ再び足を運ぶことが嬉しかったことを覚えていいます。それと同時に在校生へ何を話そう？一年目の自分は何を話すことができるだろうか？と不安な思いもありました。自分が看護師として在校生に向けて話をする日がくるとは想像もしていませんでした。在校生へ自分の入社してからのことや新人教育など、自分の体験のありのままを話させてもらいました。在校生の方も真剣に聞いてくださり、質問コーナーなどもあり楽しい時間を過ごすことができました。在校生が直接、「川崎病院を就職先に考えています」と言いに来てくださり、相談された時はすごく嬉しかったです。また、話をするなかで自己の振り返りをするのができ、自分の成長した部分に気づくことが出来ました。

授業の再受講では、学生のころとは違った目線で受講することができ、働く中で聞いたことのあるワードもあり楽しく受講させて頂きました。チューターの先生との面談では、大学時代の思い出話や、同期が頑張っている話や、自分の職場の話も聞かせてもらいました。先生方の励ましの言葉や気にかけてくださることがとても嬉しかったです。先生のお部屋も懐かし、学生時代に戻った気分でした。

振り返ってみると今年の四月から看護師となり、まずは職員の名前や場所を覚えることで精一杯でした。さらに、岡山で新生活を始め不安なことばかりでした。そんな時に支えてくれたのは大学時代の友人や病院の同期の皆でした。皆同じ悩みを抱えており安心したのを覚えています。今では職場にも慣れ、任される仕事も多く日々責任感を持ち頑張っています。広島都市学園大学の良さは、学校の規模が小さい分先生との距離や同級生との距離が近いことだと思っています。なので、皆さんも実習や就職、国試に不安な事は多いと思いますが友人や先生方と支え合い目標に向かって頑張ってください。

先輩の「里帰り研修」で、
「在学生へのメッセージ」を聞いて

健康科学部看護学科
二年 原田葵衣さん



卒業した先輩からお話を聞く機会は今までなかったので、今回、砂田さんのお話を聞くことができました。病院についてや、病院での体験を聞き、病院内や病院外で研修が行われていることを知りました。また、コミュニケーションについての話を聞き、患者さんとのコミュニケーションは大切だということを知りました。砂田さんは「患者さんとのコミュニケーション」だけでなく「看護師さんとのコミュニケーション」も大切だということを知りました。このことから、患者さんの看護を行うときだけでなく、病院でチームの一員として働く上でもコミュニケーションは必要だということになりました。

今回の里帰り研修では、大学へ行くまでの市内電車からの風景や久しぶりの広島が懐かし、リフレッシュすることができました。また、先生方との会話の中で自己を見つめ直すことのできた研修となりました。

勤務先の「一年目職員の研修」では、入職研修からフォローアップ研修一六と段階的に計画され、時間をかけて大切に育てていただいていることを知りました。また、プリセプターシップ制により、諸先輩方や同期の方々に支えていただき、学びの多い環境であることも知りました。彼女の言葉から、働きやすい勤務体制、手厚い職員研修、諸先輩方や同期の仲間の支え等、全てに感謝しながら仕事に励んでいることが伝わりました。社会は、人と人との繋がりで、生きたり生かされたりしていることに気づいてくれたようです。笑顔で伝えてくれる彼女に、安心して同時に嬉しく思いました。また、「行つてきます！」と、後輩達の待つ教室に向かいました。その様子は、この春卒業した子とは感じさせない対応で、大変頼もしく感じました。新卒者の学び直しの機会は、在学生と交流することにより、先輩からキャリア形成への示唆を得ることが出来ます。ここでもまた、人と人との繋がりによって、互いを成長させる貴重な機会となったのではないかと思います。

卒業生の成長を感じました

看護学科教授 山口扶弥 先生



「先生！」。開いた扉の先に、在学生中と変わらない砂田さんの明るい笑顔がありました。

とても元氣な卒業生五人組が、私の研究室で、卒業研究や就職活動、国家試験勉強の進捗状況等について、ワイワイガヤガヤと話していたことを思い出しました。研修で来たのだからと、少し構えて彼女を迎えたのですが、彼女との話が始めると、仕事の様子、大学時代の仲間のこと、在学中の懐かしい話等、話が尽きませんでした。勤務先の「一年目職員の研修」では、入職研修からフォローアップ研修一六と段階的に計画され、時間をかけて大切に育てていただいていることを知りました。また、プリセプターシップ制により、諸先輩方や同期の方々に支えていただき、学びの多い環境であることも知りました。彼女の言葉から、働きやすい勤務体制、手厚い職員研修、諸先輩方や同期の仲間の支え等、全てに感謝しながら仕事に励んでいることが伝わりました。社会は、人と人との繋がりで、生きたり生かされたりしていることに気づいてくれたようです。笑顔で伝えてくれる彼女に、安心して同時に嬉しく思いました。また、「行つてきます！」と、後輩達の待つ教室に向かいました。その様子は、この春卒業した子とは感じさせない対応で、大変頼もしく感じました。新卒者の学び直しの機会は、在学生と交流することにより、先輩からキャリア形成への示唆を得ることが出来ます。ここでもまた、人と人との繋がりによって、互いを成長させる貴重な機会となったのではないかと思います。学生の成長を感じる：それが一番の喜びです。本学の卒業生が、職場の中で必要とされる看護師に成長していきけるよう、私も努力を積み重ねていきたいと思います。そう感じた一日でした。